



入門者のための

Frequently Asked Question

# FAQ

このコーナーでは、みなさんから寄せられたインターネットに関する  
質問や疑問についてお答えしていきます。

日頃からわからないなあと思っている疑問、困っていることなどありましたら  
どんなことでもけっこうですから質問を編集部までお寄せください。

宛先は ip-faq@impress.co.jp です。電子メールでの回答はできませんのでご了承ください。

私は昨年12月に初めてパソコンを購入した超初心者です。このコーナーも「入門者のための」となっていますが、ハイレベルな質問が多く、このような質問をしてよいものかと少しためらいましたが、恥をしのいで質問します。この前、初めて Netscape Navigator 1.1[ja] を使ってニュースグループにアクセスしました。一覧を見ているうちに、「erotica」という単語にひかれ、「alt.binaries....」というところをクリックしたところ、一部は読めるのですが、「begin \*\*.jpg」と書かれた行以下が暗号の羅列のようになっていました。拡張子から察するに、画像だと思うのですが、これを見ることはできないのでしょうか。変な質問で申しわけありません。なお、パソコンはDOS/VでOSはウィンドウズ95です。

(甲斐一教さん)

**A.** こういう質問のためのコーナーなんですから、「恥をしのいで」などと言わないでください。

さて、ご質問のファイルですが、これは UUENCODE (ユーユーエンコード) と呼ばれる形式になっています。これは、インターネットがUNIXを中心に発展してきたなごりで、バイナリーファイルを直接転送

することができない電子メールやネットニュースで画像などのデータを交換するために、バイナリーファイルをアスキーテキスト形式に変換して転送するために用いられています。元のファイルに戻すには UUDECODE (ユーユーデコード) と呼ばれるソフトウェアを用います。元々はUNIXのUUCPというシステムの一部として含まれているものですが、MS-DOSなどのシステムでも利用できるようになっています。

ウィンドウズの場合、wuudoなどのソフトウェアがありますから、これを利用するといいでしょう。wuudoはシェアウェアで、ftp://ftp.ij.ad.jp/pub/win3/uttl/wuudo486.zipなどにあります。

まず、必要なデータが格納されている記事をファイルに格納します。Netscape 1.1[Ja]の場合は、ファイルメニューの「名前を付けて保存」を選択し、データを格納するファイル名を指定することでファイルに記事全体が格納されます。このとき、ファイル名を「XXXX.uue」としておくといいでしょう。変換ソフトウェアによってはこのファイルの拡張子を確認して、違う拡張子だと変換できない場合があるからです。

wuudoの場合は、このプログラムを起動してFileメニューの「Decode」を選択し、元に戻すファイル(つまり先ほど記事を格納したファイル)を指定すると、元のバイ



① Netscape 1.1 で UUENCODE 形式のファイルを見る。ここで表示文をファイルにセーブする



② wuudo で変換するファイルを指定



③ 1つのバイナリーファイルを復元

## 回答者 砂原秀樹

奈良先端科学技術大学院大学  
情報科学センター助教授  
WIDEプロジェクト・ボードメンバー。  
日本でのインターネット普及のために  
研究と後輩の指導に努めている。

ナリーファイルを得ることができます(図②、③)。

wuudoの場合には、元に戻したいファイルをExplorerなどからwuudoのウィンドウにドラッグアンドドロップをしても変換できるようにになっています。

ちなみに、Netscape Navigatorの最新版2.0(ベータ6で確認しました)では、UUENCODE形式の情報も自動的に変換されて

ブラウザ上で表示されるようになっていきます(図④)。

なお、UUENCODE形式で送られてくるファイルは画像ファイルだけではなく、便利なプログラムなども多くあります。「erotic」なんて名前に目を奪われていないで、もっと楽しいファイルを探してみてくださいね(笑)。

①Netscape2.0(ベータ6以降)なら、UUENCODE形式で登録されたファイルを自動変換して元の画像を表示してくれる



**A.** インターネット上のさまざまなリソースの制約から、長い間電子メールの大きさには制限が設けられていました。現在でも、パソコン通信や小さなオフィス、あるいは利用している回線速度の遅い組織では、受けとることのできる電子メールの大きさに制限を設けているところがありますので、大量のデータを電子メールで送らなければならない場合にはあらかじめ相手に問い合わせるようにしたほうがいいでしょう。しかし、MIME形式で画像や音声、あるいは動画を送ることができるようになった現在では、あまり気にしなくてもよい問題かもしれません。

いずれにせよ、こうした慣習から大きな画像ファイルなどを電子メールで送る場合には、ファイルをUUENCODE形式に変換した後に分割して電子メールを送ることが多いようです。あるいは、こうした作業を自動的に行うシステムもあります。しかし、このようにして送られてきたデータを復元する際に、各ファイルを一手で編集してい

ウィンドウズでEudoraを使っています。UUENCODEでメールを送ってもらいましたが、いくつかのメッセージに分割されています。これを復元するために1つにまとめたのですが、どうしたらいいでしょうか。

(笹原伸介さん)

ては大変です。このようなときに便利なコマンドがuudxというコマンドです。ウィンドウズではDOSプロンプトから利用することになります。分割されたメッセージを順番に、A1、A2、A3というファイルに格納した場合、これらを順に引数として指定し、  
A>uudx A1 A2 A3

のように実行することで、ファイルを復元することができます(図⑤)。このとき、各ファイルの電子メールヘッダーを取り除くといった作業をする必要はありません。

このコマンドは、UNIXとウィンドウズと

DOSで利用できますが、ソースコードも提供されていますので、このほかのコンピュータでも工夫をすれば利用できるようになるでしょう。このコマンドは下の場所から入手することができますが、本誌の付録CD-ROMにも収録されています。



⑤uudxの実行画面。ウィンドウズ95のMS-DOSウィンドウからでもだいじょうぶ。

URL [ftp://ftp.nisiq.net/pub/win/archiver/uudx/uudx\\_299.lzh](ftp://ftp.nisiq.net/pub/win/archiver/uudx/uudx_299.lzh)  
URL [ftp://ftp.ij.ad.jp/pub/misc/win/archiver/uudx\\_299.LZH](ftp://ftp.ij.ad.jp/pub/misc/win/archiver/uudx_299.LZH)  
(ミラーサイト)

現在 PC-9821BS を使って 14.4Kbps でインターネットに接続しています。しかし、WWW ではストレスを感じるので、28.8Kbps のモデムへの買い換えを検討していますが、98 では 19.2K 以上の通信ができないと聞きました。買い換えても意味がないのでしょうか。また、現在のパソコンで高速通信をする方法はあるのでしょうか。教えてください。

(清水真吾さん)

**A.** 詳しい説明はさけますが、昨年発表された X Mate シリーズ以降に発表されたモデルだけが 19.2Kbps 以上の通信ができるようになっているようです。しかし、ご指摘のとおり、14.4Kbps での接続ではヘビーユーザーにはストレスがたまる

てしまうことも事実です。実は、V.42bis の圧縮機能を利用すると約 4 分の 1 にデータが圧縮されますから、14.4Kbps のモデムを利用している場合でも 57.6 (=14.4 × 4) Kbps の性能を出すことが可能なのです(ウィンドウズ 3.1 を使っている場合はもっと落ちますが)。したがって、清水さんが利用されているパソコンでは、14.4Kbps のモデムの性能も十分に引き出せていないことになります。

V.34 のモデムを購入してその性能を有効に利用するためには、115.2Kbps 程度の通信速度を実現できるインターフェイスが必要になります。モデムと一緒に最新のマシンを購入できればいいのですが、数万円のモデムと違い、そうそう簡単に買い替えることはできませんよね。そこで登場するのが、拡張インターフェイスです。PC-9821 には C バスと呼ばれる PC98 シリーズ専用の拡張スロットが用意されていますが、いくつかの会社からこの C バス用の拡張 RS-

232C ボードが販売されています。これらのボードでは、115.2Kbps までサポートしているものが多く登場しており、1 万円台から 3 ~ 4 万円程度で入手できるようなので、それほど投資をしなくても快適な環境が構築できそうです。

また、もう少し余裕があるならば、この際 ISDN にしてしまうのはいかがでしょうか。ISDN ならばデジタル回線で 64Kbps という非常に快適な環境を構築することができます。C バスに設置できる ISDN ボードも多数登場していますから、これを利用すれば簡単にインターネット環境の構築ができるでしょう。それに、ISDN を利用すると、64Kbps の回線を同時に 2 回線利用できるようになり、1 回線でインターネットを利用しながら、もう 1 回線で友達と電話をするなんていうこともできるようになります。いつもインターネットを利用していて電話が利用できないと家族から責められている人には最適ですよ。



● 拡張 RS-232C ボード。写真はインターネット利用者向けに新発売されるメルコの 28.8Kbps モデム機能付き製品。44800 円



● PC98 で使える ISDN ボード。写真はマイテックの「SURFING BOARD 64」。64800 円。インターネットソフトバンドル版もある

**A.** 昨年は異常と思えるほど「インターネット」という言葉が世の中に氾濫していました。しかし、どのマスコミも「何がすごくてどう役に立つのか」という疑問には答えてくれなかったと思います。ですから、ご質問のように、「結局、何がすごいのか?」と思っている人も大勢いらっしゃるのではないかと思います。

私はインターネットがまだインターネットとは呼ばれない時代からインターネットに住んできましたが、今やインターネットなしでは仕事にならないぐらいになってしまいました。インターネットになんらかの魅力があるからここで生活しているわけで、私にはこの質問に答える義務がありそうです。

ところで、この質問に答える前に、皆さんに逆に質問したいと思います。「皆さんは何か道具を選ぶときに、これから自分が何をしたいのか考えずに選びますか?」どうも「今インターネットが流行しているらしいから自分もインターネットをやらなければならぬ」という強迫観念でインターネットを始めてしまった人が多いように思われます。ところが、何をしたらいいのかわからなくて放り出す人が多いのではないのでしょうか。

我々が炊飯器を選ぶ場合には、「おいしいご飯を炊きたい」ということを考えているはずですが、また、のこぎりについて考えている場合には、何か木材を楽に切りたいという要求があるのではないのでしょうか。インターネットも、炊飯器やのこぎりと同様、我々人間が利用できる道具の1つにすぎません。ただ1つ異なるのは、炊飯器やのこぎりと異なり、1つの目的を達成するためだけに利用される道具ではないのです。

パソコンのイベントやセミナーに行っているいろいろなホームページを見せてもらいましたが、インターネットのどこがすごいのか今ひとつわかりません。新聞などで騒がれているほどのものじゃないと思います。何がすごいのか教えてください。

(長州幸子さん)

同様の道具に「コンピュータ」があります。実は、この質問はコンピュータを利用したことがない人から「コンピュータってどこが面白いの?」と言われるのに似ています。

コンピュータは、そこに格納されるソフトウェアによってさまざまな目的を達成する道具に変身します。しかし、とくに目的も持たずにコンピュータに触れると、なんだかややこしい箱だなあとってしまうかもしれません。結局、「難しいからきらいだ」とか「役に立たない」と評されることになってしまいます。でも、これはコンピュータが悪いわけじゃないでしょう。インターネットの魅力は、「インターネットを何のために利用するのか?」ということを考えながらできないとわからないのです。

インターネットは、電話やテレビといった道具と同じ範疇の道具になります。しかし、電話は遠くの人と会話をするための道具、テレビは画像を含む情報を入手するための道具ですが、インターネットは電話やテレビなどが提供する機能も包括した統合的な通信の道具なのです。ここではいろいろなことができます。

1. 世界中の人と文通ができます。
  2. 海外の人とテレビ会議ができます。
  3. 対戦型ゲームだってできます。
  4. 個人輸入だって簡単にできてしまいます。
  5. アニメの同好会だってあります。
  6. 坂本龍一のコンサートだって見ることができます。
  7. Virtual Sex だってできるかもしれません。
  9. アメリカの国立図書館にアクセスすることもできます。
  10. クリントン大統領の飼っている猫の声だって聞けます。
  11. ネットワーク上に会社を作ることだってできます。
- とにかく、あげたらきりがなくいろいろなことができます。しかし、それらが自分に興味のないことだったり、自分がやりたいと思うことじゃなければ、「だからどうしたの?」と思ってしまうでしょう。

インターネットはコミュニケーションの道具、あるいはさまざまな情報がつままった箱なのです。そういった道具が自分の目の前にあるとしたら、自分は何をしたいのかをまず考えてみてください。そして、それがインターネットでできるのかをいろいろな人に尋ねてみるといいでしょう。もし、自分がやりたいことができないのならば、あなたにとって「インターネット」は不要な道具なのです。将来、自分がやりたいことができるようになってから使えばいいのです。

筆者はいろんなところでいろんな人に出会っていますが、マスコミが煽る「インターネットバブル」に踊らされないでください。自分にとって必要な道具かどうかを考えてほしいのです。そこから、あなたのインターネットへの第一歩が始まるのです。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)